

クラス	TU313	担当教員	松下 明生
テーマ	「みる・かく・つくる・あそぶ・いきる」		
著書・論文 作品等	<p>《作品所蔵》日本画作品「名古屋城」(M10)南京外国語学校所蔵・「秋映」(F50)愛知東邦学園所蔵・「気配」(F150)大府市役所所蔵・「雪樹立」(F30)大府市役所所蔵・「ウィーンの屋根」(150×750)セキ美術館所蔵・「祈り」(150×750)セキ美術館所蔵・「おへんろの道」(F150)明石寺所蔵・その他収蔵多数</p> <p>《執筆・論文など》・「造形表現」(分筆：第15章作品展をすすめるために)2018(株)一藝社・教職・保育職シリーズ5.「教育・保育の新視点」(分筆：第5章 幼児の表現と小学校図画工作科との接続と指導計画)(株)三恵社・論文「描画行動への好悪心理の起因に関する研究」2020 幼児の造形表現と図画工作及び美術科教育法の芸術心理側面からの問題提起(日本福祉大学子ども発達論集第12号, pp. 1-17)・論文「幼児の領域(表現)と小学校課程(図画工作科及び生活科)との相関について」2018 柳城こども学研究第1号, pp. 15-29)・論文「保育所と小学校における造形・図画工作教育の教科観に関する一考察」2018(名古屋柳城短期大学研究紀No. 40, pp. 135-147)</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：「見る(鑑賞)・書く(描く)・作る(制作)・遊ぶ(生きる)」「芸術学」「教育学」			
<p>「目的」</p> <p>・描いたり作ったりする作品制作や造形ワークショップが好きな人、各教科の教育教材の制作研究がしたい人を応援します。</p> <p>「人間の本能的な活動：芸術学による人間形成及び教育」について、さまざまな手法で実効することを体験し、自ら実現可能な人材として教育者として貢献することができるようになる。」</p> <p style="text-align: right;">出典 「美術による人間形成」V. ローウェンフェルド(黎明書房：1964) 「芸術による教育」ハーバート・リード(フィルムアート社：2001)</p> <p>「方法」</p> <p>3 年前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科教育(図画工作教育法)や造形系の授業ではできない、芸術学的体験 をする。 ・みんなでする共同活動と個人で研究する 2 つの方向で進める。 <p>3 年後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に向けて、各教科(生活・理科・算数・社会・道徳・国語・体育など)の 各教科教材の制作 ・学外ワークショップ を行い、幼児から児童と親子参加する活動 や、地域の高齢者や支援の必要な施設などに関わりながら 制作体験 とする。 ・芸術の広がり：モノづくりについて理解を深める。 ・文献の調査と引用文献の蓄積作業 <p>4 年前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生き方 について向き合い、準備と実現に向けて自ら行う。 ・新しい ワークショップのファシリテーターとしての役割と社会貢献 について考える。 ・個人の卒業研究として「制作」か「論述」かを考えてテーマも見出す。 <p>4 年後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究(作品制作・論文・制作とレポート：の中から選択) ・地域貢献(共同ワークショップ) ・卒業制作展示 <p>*卒業研究は、必ずしも制作とは限らない。芸術論的なアプローチでの論文でも構わないし、教育学的な実践論文でも良い。もちろん制作(絵画・イラスト・紙芝居・絵本・アニメーション・立体工作・オブジェ・インスタレーション・現代美術など)が主軸として作品発表とレポートでも良い。音楽と美術の融合的なモノづくり、工学的な未来の自動車模型の制作や乗り物の提案、建物のジオラマや建築設計、生活に必要なデザインの提案など。自らがやりたいことを見つけて実行することが大切である。これらは、必ずや教師に必要な資質となり、教員採用に留まらず、一般企業においても新しいものを生み出す力となり得る。</p>			
担当教員からのメッセージ			
上手い下手ではなく「描いたり作ったり」することが好きな人、自ら考えて実行できる人が集まればいいですね。			